

日 時 令和2年10月21日(木) 5校時  
授業場 美術室

生 徒 2年C組 計33名  
授業者 更科 結希

## 1. 題材名

『花を贈る』 (全6時間)

「A表現」 (1) ア (ア) イ (イ) [共通事項] (1) イ

## 2. 題材の目標

(1)・形や色などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、贈る相手や造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。

・意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。

【知識・技能】

(2)・贈る相手や選んだ花の形や色のイメージなどから主題を生み出し、形などが感情にもたらす効果や、機能に合わせた形と美しさなどの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。

・プロダクトデザインの調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と想像的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。

【思考力, 判断力, 表現力等】

(3)・美術の創造活動の喜びを味わい、花を贈りたい相手を想起しながら、花を選定しそれに合う花瓶の形や色を形成していくことを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

【主体的に学習に取り組む態度】

## 3. 題材観


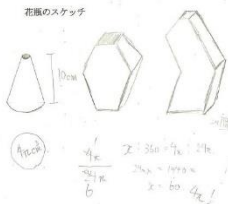
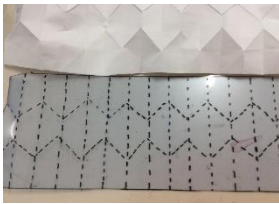
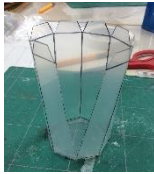

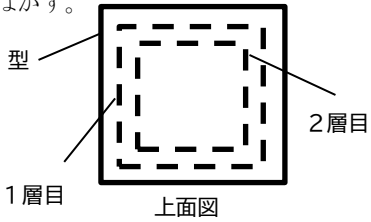



中学生にとって、花を誰かに贈る機会はそう多くはないが、花を贈ることは相手を想い、花の色や形を選ぶ経験をさせたいと考えた。本題材は、花の色や形に着目しながら、花瓶の形状や色を考え表現する活動とした。

花瓶の形状には、機能面としての特徴もあり、様々な種類のものが存在する。様々なデザインを鑑賞する中で、機能とデザインの関わりについて考え、実際に形状や色を構想していく中で、美しさや全体のイメージなどを総合的に考えられるように促したい。そのためには、ジェスモナイトで工夫できることを学びながら、主題にあった表現を見つけられるよう、選択できる場面を設けていきたい。

## 4. 評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|---|--|
| <p><b>知</b> 形などの性質及びそれらが相手の印象にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、花と花瓶の関係性を全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p><b>技</b> 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。</p> | <p><b>発</b> 花を贈りたい相手をイメージし花の選択やその花に合う花瓶の形や機能との調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p><b>鑑</b> 花との調和を考えた花瓶の洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> | <p><b>態表</b> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、統一感などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫して見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p><b>態鑑</b> 主体的にプロダクトデザインの調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

5. 題材のデザイン (全1時間)

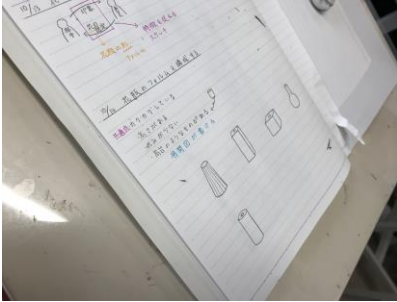


| 時         | ○学習活動 ・ 学習内容  | 指導の留意点   | 評価の観点   |   |   |   |
|-----------|---|--|---|---|---|---|
|           |   |  | 知   | 思 | 態 |   |
| 1<br>(本時) | ○花を贈る相手を想像して、花を選<br>定し、スケッチをする。<br>○様々な花瓶の形を鑑賞し、特徴的<br>な形状について見いだす。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識をもち、<br/>の種類の中から資料<br/>索を通し選択できる<br/>る。</li> <li>・市販されている<br/>類の花瓶を鑑賞し、<br/>ら生まれた形状の特<br/>見いだせるようにす</li> </ul>  <p>贈る花のスケッチ</p>  | <p>様々な花<br/>や web 検<br/>索にする</p> <p>様々な種<br/>機能面か<br/>微などを<br/>る。</p> | ○ |   |   |
| 2<br>本時   | ○選択した花に合う花瓶の形や色を<br>構想し、アイデアスケッチする。<br>○展開図を考慮しながら、形の構想<br>をする。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・花の大きさや形状を踏まえた上で、花を美しくみせ<br/>ることのできる形や色を検討できるようにする。</li> </ul>  <p>アイデアスケッチ</p>  <p>展開図</p>  |   | ○ | ○ |   |
| 3         | ○花瓶の形の展開図をクリアファ<br>イルに転写し、切り取る。<br>○クリアファイルを組み立て、テー<br>プで止め、水漏れをしないか確認す<br>る。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・展開図をクリアファイルに写した面が外側になるよ<br/>うに組み立て</li> </ul>  <p>組み立て中</p>  <p>組み立て後</p>   |   |   | ○ |   |
| 4<br>5    | ○形成したクリアファイルに、ジェ<br>スモナイトを流し込む(計2回)。<br>○硬化を確認し、クリアファイルをは<br>がす。<br> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・形成した型に必要な<br/>ジェスモナイトを測<br/>り、2回に分けて、回<br/>しがけていく(1層<br/>目が硬化してから、2<br/>層目を流す)。</li> <li>・色彩の工夫につい<br/>て、方法を確認する。</li> </ul>  <p>型に流し込みをしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆マール状：2色を不完全に混ぜた状態で流し込む</li> <li>◆積層：1回目の分量を必要数に分け流す</li> <li>◆積層：1層目と2層目の色を変える</li> </ul> |   | ○ | ○ |   |
| 6         | ○完成した花瓶に花を入れて撮影し<br>たり、他者の作品の意図を聞きなが<br>ら鑑賞する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に花を入れ、全体の雰囲気にあう台紙を選び<br/>撮影をする。また、他者の作品の意図を話しなが<br/>ら、鑑賞できるようにする。</li> </ul>  <p>型から外した花瓶</p>  <p>花を入れた完成<br/>作品</p>  |   |   |   | ○ |

## 6. 本時の展開 (2 / 6)

### (1) 本時の目標

相手や選んだ花の形や色のイメージし、花の選択やその花に合う花瓶の形や機能との調和、素材の特性や展開図を想起しながら表現の構想を練る。

### (2) 本時の展開

| <b>学習活動</b> <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">児童・生徒の姿</span><br>○教師の働きかけ・発問, △補助発問, □指示・説明 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">手立て</span>  | <b>【評価の観点】</b><br>◇ 評価の内容<br>・指導上の留意点   |
|---|---|
| <p><b>1 素材の可能性をゲストティーチャーから着想を得る。</b></p> <p>○ジェスモナイトをどのような素材だと理解していますか</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     水性樹脂。色をつけることができる。他の素材と混ぜることができる。                 </div> <p>□ゲストティーチャーから素材の可能性について聞いてみましょう。</p> <p>○素材の可能性を知って、どんな工夫ができるだろうか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     何か別の素材を混ぜてみる。色の工夫ができそう。マーブリングも面白い。                 </div> <p><b>2 花瓶のフォルムをスケッチなどしながら、構想する。</b></p> <p>○みなさんは、どのようなフォルムが選択した花に合いそうだと考えていますか？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     花が小さいので、高さの低い。丸みのある形なので角が多い形。繊細な花なので、丸みのある形                 </div> <p>□展開図も意識しながら、形の構想を練ってみよう。</p> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>□花のスケッチと相互に見ながら決定していこう。</p> <p>□現段階で、どのような形を候補にしようとしているか、振り返りをしてみよう。</p> | <p>ゲストティーチャー<br/>ジェスモナイト代表取締役 松本広子氏より15分程度のレクチャー (zoom)</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <p>ロイロノートで、GTの話のメモを取る。</p> </div> <p>◇ [共通事項] 形や色彩などの効果や全体や部分に着目して捉えることを理解しようとしているかを見取り評価する。【知】</p> <p>スケッチの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートに記す</li> <li>・実際の紙を操作する</li> </ul> <p>◇いくつかの種類を構想し、どの形が贈りたい花のイメージに合うかを考え、スケッチをしているかどうかを見取る。【思】</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <p>スケッチを撮影して、どれが良いか記し、提出する。</p> </div> |